

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2023年4月分)

ご協力ありがとうございました。2023年4月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143社 回答 137社 回答率 95.8%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	7社 5.1% (25.5)	10社 7.4% (21.2)	53社 39.0% (35.0)	41社 30.1% (13.9)	25社 18.4% (4.4)	136社	12社 8.9% (12.5)	21社 15.6% (11.8)	41社 30.4% (34.6)	43社 31.9% (22.1)	18社 13.3% (19.1)	135社
売上高	6社 4.4% (27.0)	12社 8.8% (19.0)	53社 39.0% (35.8)	37社 27.2% (13.1)	28社 20.6% (5.1)	136社	24社 17.8% (26.1)	33社 24.4% (17.9)	36社 26.7% (27.6)	30社 22.2% (17.9)	12社 8.9% (10.4)	135社
在庫数量	3社 2.3% (5.3)	23社 17.7% (20.6)	80社 61.5% (54.2)	21社 16.2% (18.3)	3社 2.3% (1.5)	130社	10社 7.8% (9.2)	24社 18.6% (16.2)	54社 41.9% (41.5)	25社 19.4% (20.8)	16社 12.4% (12.3)	129社
販売単価	1社 0.7% (0.7)	9社 6.7% (7.4)	111社 82.2% (82.2)	13社 9.6% (8.9)	1社 0.7% (0.7)	135社	32社 24.1% (35.1)	47社 35.3% (26.1)	40社 30.1% (29.1)	12社 9.0% (8.2)	2社 1.5% (1.5)	133社
収益状況 (粗利)	3社 2.2% (10.1)	7社 5.2% (14.5)	81社 60.0% (53.6)	30社 22.2% (18.1)	14社 10.4% (3.6)	135社	8社 5.9% (11.0)	17社 12.6% (12.5)	58社 43.0% (41.2)	38社 28.1% (22.1)	14社 10.4% (13.2)	135社
稼働率 (生産・ 加工設備)	1社 0.8% (5.1)	6社 5.1% (16.1)	72社 61.0% (59.3)	29社 24.6% (17.8)	10社 8.5% (1.7)	118社	4社 3.4% (8.6)	14社 12.1% (10.3)	60社 51.7% (51.7)	26社 22.4% (21.6)	12社 10.3% (7.8)	116社
入出庫の トラック台数	0社 0.0% (8.5)	5社 3.8% (13.8)	81社 61.8% (60.0)	35社 26.7% (15.4)	10社 7.6% (2.3)	131社	3社 2.3% (5.4)	19社 14.8% (10.1)	66社 51.6% (55.8)	28社 21.9% (20.9)	12社 9.4% (7.8)	128社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社 0.0% (0.0)	4社 3.1% (6.0)	76社 58.5% (54.1)	35社 26.9% (29.3)	15社 11.5% (10.5)	130社	0社 0.0% (0.0)	18社 14.2% (14.5)	97社 76.4% (71.8)	8社 6.3% (9.9)	4社 3.1% (3.8)	127社
特記事項												

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(2023年4月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 4月の販売量は前月に比べ稼働日が少ない分減少。前年同月と比べても日当たり販売量がわずかに少なかった。状況としては変わらず低調なままということになる。秋口まではこのままの状況が継続するものと思われる。
- ② 4月は前年比、前月比ともに数量は減少した。全般的に盛り上がり欠け、自動車の回復も先延ばしとなっている。しかしながら、三品在庫は順調に減少しており、需要が回復すれば品薄状況になるだろう。
- ③ 建材関係の物件が減少。4～6月頃まで受注があまり無く、得意先との連絡を積極的にして稼働率UPと売上UPのために営業努力するしかない。
- ④ 電気代、運賃、消耗品代、梱包費の更なる値上げを考えると、仮に仕入れ値が下がったとしても、価格を下げて販売するような馬鹿げたまねはできない。
- ⑤ GW前の週から落ち着いてくると思いきや、駆け込みや、実需も相まって数量を伸ばせた。相場も何とか維持でき、中身も十分ではないが形にはなった。引き続き与信にもアンテナを張ってディフェンスを固めていく。
- ⑥ 4月は稼働日が減ったが売上、加工ともに微増となった。需要はないものの、年度明け、GW前の荷動きが少しあったように感じるだけで、4～6月も軟調は続きそうだ。

中板

- ① 4月も需要の停滞は拭えず販売、加工とも思わしくなく、在庫調整も進まないことから価格も軟調気配である。更に中国の景気回復期待も裏切られ、アジア市場の軟化から輸入鋼板の流入増が懸念され、今後の市況動向は不透明さを増している。昨年来、加工賃の改定交渉に注力するも、認められた会社はまだ一部で、厳しい対応が続いている。このところ、世間の大手企業では思い切った賃上げ表明が続いているが、持続可能なコイルセンターを目指す事業者としては、そのニュースを聞いた時に忸怩たる気持ちになる。
- ② 今月は年度初めでもあり、荷動きは低調。東京製鐵の5月売り出し価格は据え置きであり、市中も目立った動きなし。東京製鐵に切り替えをした先も多く、入荷遅れのサイズもあり品薄感はあるものの各社当用買いに徹しており、引合い自体が少なく、我慢が続く。

厚板

- ① <全体感>厚板を扱う各分野においては全体的に低調。建産機も一部のメーカーを除いて弱含みの計画。首都圏の大型再開発案件に動きはあるものの、人手不足等で工期遅れが目立ち、中小物件は依然として低迷。一方で 2023 年度第 3 四半期の各メーカーの生産設備集約や大規模改修に伴う供給タイト化にどのように対応するかが先々の懸念事項。<分野別>建機分野では、23 年度は前年度比で若干弱含み。内訳は大型・中型の建機は前年比マイナス、鉱山機械は前年並みとなる見込み。産機分野は工作機械受注金額が 3 カ月連続で前年割れしており、外需を中心に先行き不透明。店売り分野は、中小建築物の中止や延期が増えており、活気がない状態が続く。
- ② 当社の建設機械向けは引き続き好調を維持。店売りは、鋼材価格の高騰で引合いはあるが受注に結びついていない。

一般形鋼

- ① 3 月より営業日数 2 日減なるも、4 月はほぼ前月と調査項目は横這いで、4 月の方が善戦か。5 月は連休後の荷動きに一抹の不安あり。それと、中国の経済鉄冷えの余波に翻弄されないか戦々恐々。
- ② 価格競争が厳しい。現場が延びていて、職人さんの確保が大変。

異形棒鋼

- ① メーカー値上げを受け在庫販価を上げたが、荷動きは低調。我慢が続いている。スクラップ市況の下落、電力料金の上昇で市況動向に不安を感じている。
- ② 4 月は、年度初め、ゴールデンウィーク前で数字は伸びなかった。メーカーの値上げ姿勢は変わらず、販価を上げさせて頂いた。動きは体感的には低位だが、底堅いのではないか。
- ③ 年度替わりだが荷動きは低調なまま推移している。これから梅雨もあり、閑散期に入るため、大きな動きは期待薄か。現状、安値に引っ張られつつある中、利益確保のために、経費節減に努めるしかないか。

平鋼

- ① 店売り定尺品は横這いで推移。4 月契約でメーカーが値上げし多少の仮需は出たが期待したほどではなかった。値上げは 4 月早々からお願いし帳場明けから実行しているが、この分は昨年積み残しなので、5 月以降も価格転嫁を進めていく。
- ② 4 月はメーカー値上げもあり、若干の仮需も発生した。しかし、実需自体は停滞しており、GW 前後の荷動きは閑散としている。建築系の加工は依然として好調であり、夏場以降に動きが出て来ることを期待している。

軽量形鋼

- ① 中小物件の低調が続いているため、店売りも苦しい状況。しばらくはこのままではないかと思われる。
- ② 閑散期ではあるが、例年になく受注状況が悪く、先も見通せない。

鋼管

- ① 前月が大きく落ち込んだため、やや回復感があったが、出荷量は2ヵ月でみれば前年比10%以上の減少である。価格は専門品が弱含んでいるが、総じて横這い状態である。
- ② 前月に続いて、倉出しに大きな変化は無く、とくにGW連休を控えての最終週(4/24～)は冴えなかった。ただし、市況は横這いを維持されており、メーカーからの在庫を抑えたため総在庫は減少傾向にある。

構造用鋼

- ① 需要については、自動車の生産回復は遅れており、建機向けも堅調だが一部に調整が入っている。全般的には一服状態。店売りの荷動きは低調で推移。紐付きは堅調。在庫は販売の低調もあり過多。価格は、メーカー各社の値上げが浸透し、当面は強基調の展開を予想。

磨棒鋼

- ① 長らく調整局面が続いていた自動車向け紐付き品は、4月以降にわずかながらも回復の動きが見られるようになってきた。しかし、向け先によりばらつきがあり、本格的な戻りにはしばらく時間が掛かると思われる。店売り、建機向け、産機向けは低位安定で変わらず。

その他

<鉄スクラップ>

- ① 例年、GW前の4月はメーカーのスクラップ購買意欲が強まる傾向があり、市況の反発も期待したが、反発どころか下落した。海外市況も悪く、今のところプラス要因も見当たらない。必ず荷動き、市況ともに回復するときは来る。こんな時こそ、安全、健康に留意して日々を過ごしたい。

<金属表面処理>

- ① 3月に引き続き4月も紐付き&スポットとも好調だった。5月についても、ある程度操業は確保できる見込み。